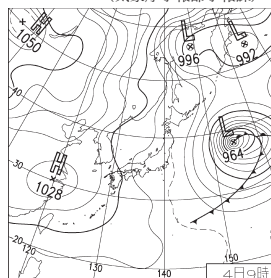


# 日々の天気図

— No. 73

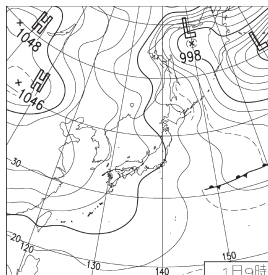
## 2008年2月

- ・13日～18日、冬型気圧配置が継続。
- ・23日～24日、北～東日本中心に大荒れ。福島県白河市34 m/s、東京都三宅村32.5 m/sの瞬間風速。北海道大空町女満別84 cm/24 hの降雪。
- ・27日、強い冬型の気圧配置となり、北陸や関東北部を中心とした大雪。群馬県みなかみ町68 cm/24 hの降雪。(気象庁予報部予報課)



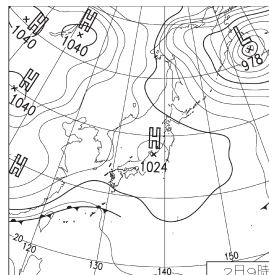
### 4日(月)氷点下の立春

関東南部は午前中積雪残り、朝は放射冷却。内陸部の所々で霧。北海道は真冬日、東北～東日本は冬日。東京都心も-0.1℃まで下がり2年ぶりの冬日。路面凍結によりケガ人続出。



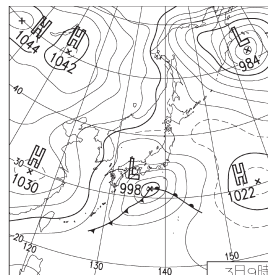
### 1日(金)北と南で気温差大

日本海側は寒気の影響で所々で雪や雨、その他は概ね晴れ。気温は西日本の一部を除いて各地冷え込む。北海道の最低気温と南西諸島の最高気温との差は約50℃。



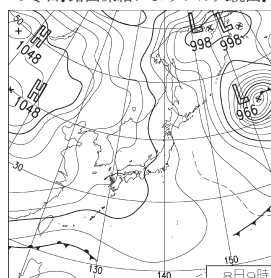
### 2日(土)東シナ海に前線発生

本州付近は移動性高気圧に覆われたものの、東シナ海南部に発生した前線や低気圧の影響で天気は次第により坂。九州、中国、四国地方では雨降り出す。



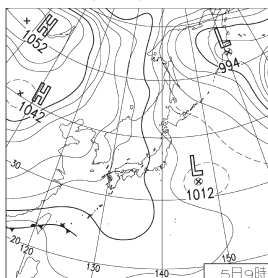
### 3日(日)関東地方 雪の節分

関東は、発達中の低気圧の影響で雪、空の便を中心に交通が混乱。千代田区大手町3 cm、横浜市7 cm、千葉市6 cmの積雪。鹿児島県桜島で噴火警報、警戒レベル3(入山規制)。



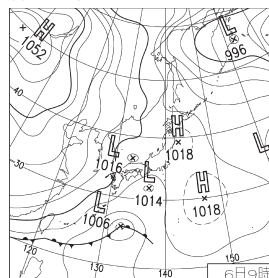
### 8日(金)全国的に寒さ続く

東北から山陰の日本海側では雪や雨。南西諸島は雨や曇り。その他は概ね晴れ。全国的に最高・最低気温共に平年より低く寒い日。静岡市でタンポポ開花。



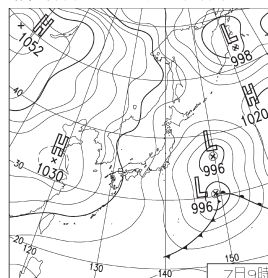
### 5日(火)沖縄 夜に暖気流入

北日本中心の弱い冬型。北陸を中心とした日本海側の地域は雪や雨、太平洋側の各地域は概ね晴れ。沖縄は、前線の影響で雨。先島諸島を中心に夜になって最高気温を記録。



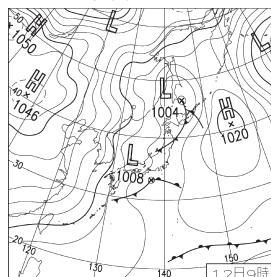
### 6日(水)関東南部沿岸で雪

本州南海上を低気圧が東北東進。神奈川、東京、千葉、茨城で雪。また、北陸は日本海の低気圧の影響で雷や雪。南大東島で64 mm/1 hの強雨、2月としての1位を更新。



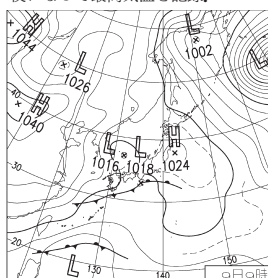
### 7日(木)九州冷え込む

日本の東で低気圧発達、西日本中心に寒気流入。九州の最低気温は平年より2～4℃低く、熊本県人吉市で-4.0℃。日中も全般に気温は低めに経過。



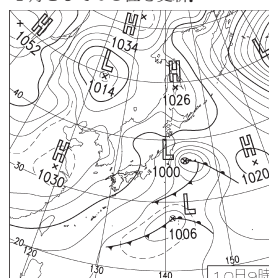
### 12日(火)全国的に雨や雪

オホーツク海と日本の南岸を進んだ2つの低気圧の影響で北日本は終日雪、その他は雨。北日本では日中の気温が平年より高く、所々で3月上旬並み。



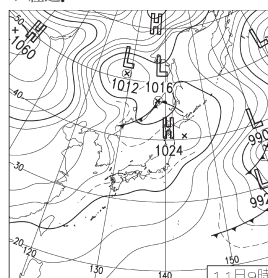
### 9日(土)名古屋市の積雪13 cm

四国沖に発生した低気圧が本州南岸を東北東進。日本海西部を寒冷低気圧が東進。西日本から次第に雨や雪となり、東北南部まで広がる。近畿や東海の所々で10 cm以上の積雪。



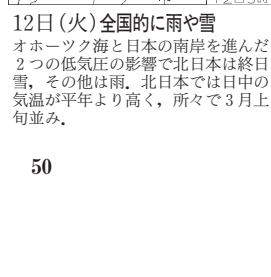
### 10日(日)雪や寒さ 一段落

低気圧は福島県沖を北上後、東へ遠ざかる。東日本太平洋側～東北南部の雪も朝まで。東北北部や沖縄を除き、日中は全国的に晴れ。東北は、朝の最低気温が3月中～下旬並。



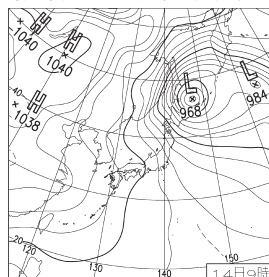
### 11日(月)広範囲で晴れ

沿海州の前線を伴った低気圧の影響で北海道の日本海側は曇りや所々雪。その他の地方は広く高圧帯となり概ね晴れ。千葉県で地震多発、最大震度3。



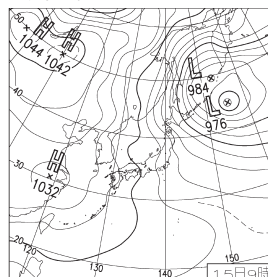
### 13日(水)北日本大荒れ

日本列島上空1500 mの-6℃線は日本の南海上まで南下し、気温は軒並み平年より3～7℃低く北日本は真冬日。その他の地域も南西諸島を除いて10℃以下の厳しい寒さ。



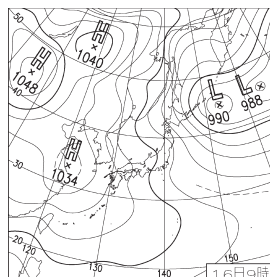
### 14日(木)冬型の気圧配置続く

千島近海の発達した低気圧により北海道えりも町で最大風速28 m/sなど、引き続き北日本は大荒れ。日本海側は北陸を中心に雪やみぞれ。太平洋側は関東を中心に次第に空気乾燥。



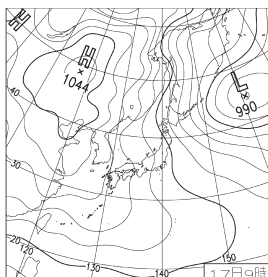
### 15日(金)北海道 暖かい朝

冬型の気圧配置。日本海側は降雪が続く。新潟県では日降雪量が50 cm超。滋賀県余呉町でも35 cm。北海道の朝の最低気温は3月下旬並。福島県いわき市小名浜でワメ開花。



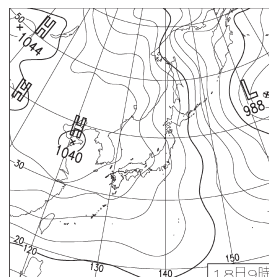
### 16日(土)北陸は大雪

冬型の気圧配置続く。寒気が波状的に流入し日本海側は大雪。新潟県津南町で朝9時までの24時間で61 cmの降雪。気温も西日本中心に全国的に平年より低い。



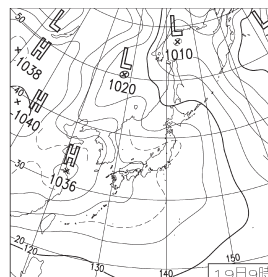
### 17日(日)九州北部で小雪

上空約5000 mで $-27^{\circ}\text{C}$ の寒気が九州北部まで南下。日本海側の広い範囲で大雪となった。新潟県妙高市関山及び長野県野沢温泉村64 cm/24 hの降雪。太平洋側は概ね晴れ。



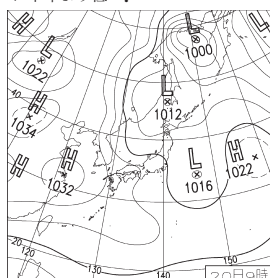
### 18日(月)西日本 各地で氷点下

東北日本海側～北陸にかけて弱い雪。その他は概ね晴れ。最低気温は西日本で低く熊本市で平年より $6.2^{\circ}\text{C}$ 低い $-4.0^{\circ}\text{C}$ 。東京都八丈島で2年ぶりの雪。埼玉県熊谷市でヒバリ初鳴。



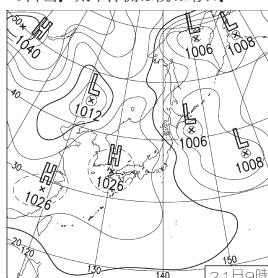
### 19日(火)大阪市・岐阜市ウメ開花

西から次第に高気圧に覆われ概ね晴れたが、日本海側は弱い雨や雪の所も。高気圧の縁を回る湿った気流や弱い気圧の谷の影響を受けた南西諸島や関東南部の所々は曇りや弱い雨。



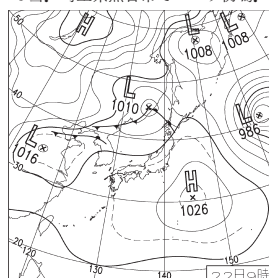
### 20日(水)インドネシアで地震

寒気を伴った気圧の谷が接近。北陸や東北の日本海側で雪や雨。南西諸島も雨。その他は日中中心に晴れ。スマトラ島北部でM7.4の地震(米国地質調査所)。



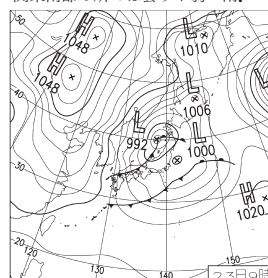
### 21日(木)3月並の気温

低気圧が東海上に進み、東北から北海道の日本海側の雪も弱まる。高気圧に覆われた東日本から西日本は晴れて3月並の気温。宮古島でソメイシシノ満開。



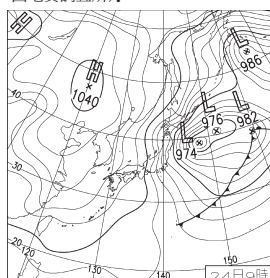
### 22日(金)気温上がる

高気圧に覆われた東北の太平洋側から西日本は晴れ。東京都千代田区の最高気温は $13.9^{\circ}\text{C}$ と3月下旬並。北海道から東北日本海側は低気圧の影響で所々雪。九州から南西諸島は雨。



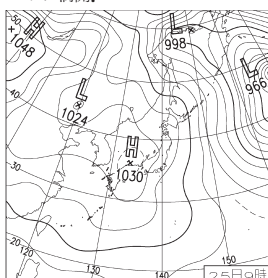
### 23日(土)春から一転真冬へ

発達中の低気圧の影響で全国的に強風吹き荒れ、交通機関乱れる。関東で春一番。東京都千代田区の最高気温は $17.0^{\circ}\text{C}$ で4月上旬並。寒冷前線通過後、2時間で気温 $10^{\circ}\text{C}$ 降下。



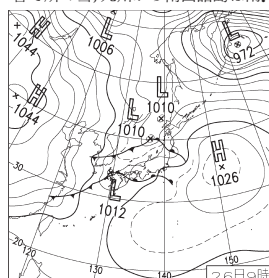
### 24日(日)風・波による被害相次ぐ

日本の東海上で低気圧が発達。北～東日本を中心に荒れた天気が続く。所々で大雪。各地で強風により交通機関乱れ。富山湾ではうねりを伴った高波による浸水などの被害。



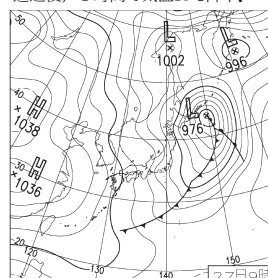
### 25日(月)稚内で流氷初日

冬型緩み西から高気圧が張り出す。北～東日本の荒れた天気が解消。東～西日本を中心に穏やかな晴れ。北海道下川町で最低気温 $-33.3^{\circ}\text{C}$ 。稚内市で2年ぶりに流氷観測。



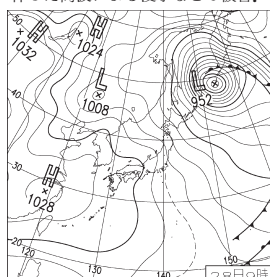
### 26日(火)関東地方で強い南風

日本海北部と九州北部の前線を伴った低気圧の影響で全国的に天気下り。東～西日本を中心に穏やかな晴れ。北海道下川町で最低気温 $-33.3^{\circ}\text{C}$ 。稚内市で2年ぶりに流氷観測。



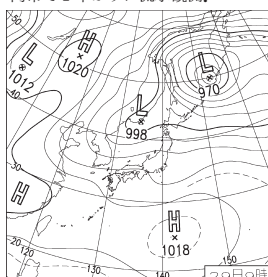
### 27日(水)強い冬型

北海道の東海上で低気圧が発達。全国的に強い北西の風が吹き、日本海側で雪。太平洋側は晴れ。日中の最高気温は真冬並。東京都心でツバキ開花。大阪市でタンポポ開花。



### 28日(木)西日本で冷え込む

北日本～北陸は冬型。日本海側は雪。太平洋側は概ね晴れ。南西諸島は曇り。宮崎市の最低気温は平年より $4.1^{\circ}\text{C}$ 低い $0.5^{\circ}\text{C}$ 。東京都大島元町でウグイス初鳴。



### 29日(金)北陸で春一番

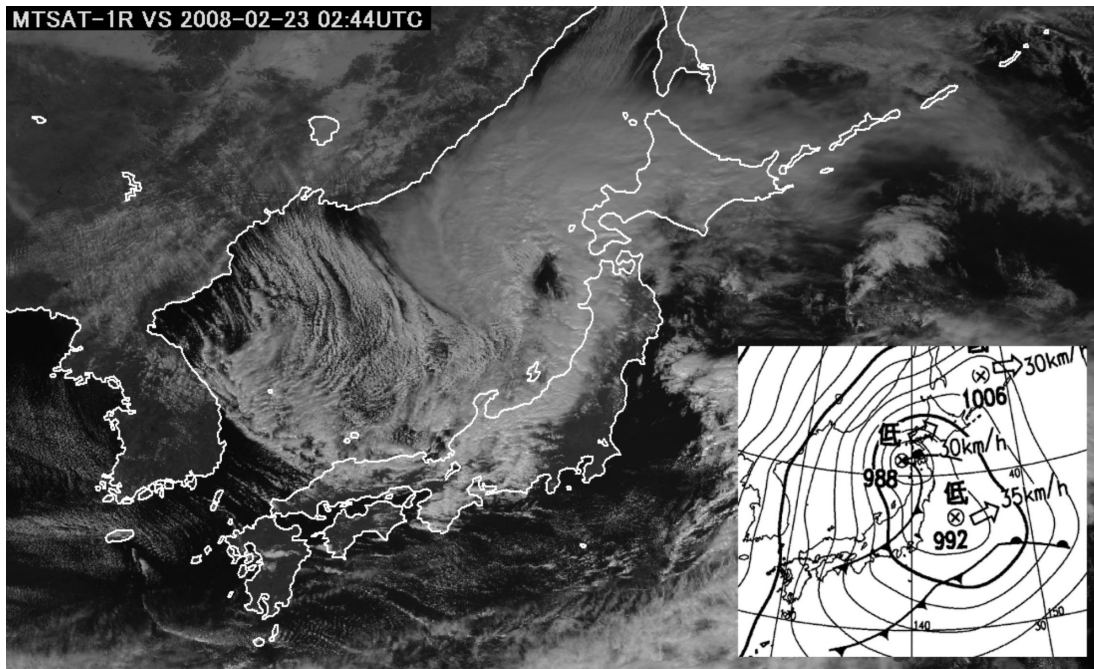
東日本～南西諸島は日本の南海上に中心を持つ高気圧に覆われる。東日本以西は、朝方、冷え込むものの中は南風が吹き気温上昇。根室市で流氷接岸初日を観測。





## 今月のひまわり画像—2008年2月

### 春一番と冬の暴風



2008年2月23日12時（JST）の可視画像と地上天気図

2月は季節が冬から春に移行する時期で、雲画像でも冬の特徴と春の特徴を同時に見ることができる。画像は2月23日12時（JST）の可視画像である。日本海北部には低気圧に伴う厚い雲域があり、雲域中の青森県の西海上には雲のない穴の開いたような所がある。穴の東側には対流雲があって、東北地方の日本海側から北陸地方付近まで伸びている。また、日本海中・西部から中国・近畿・東海地方には寒気の流入を示唆する筋状の対流雲域が見られる。一方、関東地方は雲がなくよく晴れている。地上天気図では、穴の東縁付近に低気圧の中心があり、そこから寒冷前線が四国まで解析されている。この低気圧は発達が著しく、前日21時からの15時間で20 hPaも中心気圧が低下した。日本海では等圧線の間隔が狭くなっており、風が強いことがうかがえる。

この日、関東地方では南よりの強い風が吹き、千代田区大手町では13時24分に南西15.9 m/sの瞬間風速を観測した。気温も上がり13時06分に17.0°Cの最高気温を観測し、「春一番」となった。その後、寒冷前線の通過に伴い、風は冷たい北よりに変わり、大手町で14時47分に北西27.9 m/sの日最大瞬間風速を観測、気温は24時には0.7度まで下がった。前線の通過時は、強風で舞い上がった土ぼこりで空が茶褐色になった。

翌24日にかけては強い冬型の気圧配置となり、北日本から西日本の日本海側では非常に強い風と大雪に見舞われ、各地で交通機関の乱れや事故が相次いだ。また、海上では大しけが続き、富山湾沿岸の入善町では高波が防波堤を壊して住宅地に流れ込み住家が全壊や浸水するなど、各地で被害が発生した。

（気象庁予報部予報課 小池仁治）